

校長室だより第35号（令和7年12月22日）

今日（12月22日）は冬至。

冬至は『冬に至る』と記すので、本格的な寒さの到来という意味も込められているとは思いますが、昨日今日と寒さは影を潜めています。毎朝校門に立つ身としてはありがたいのですが、拍子抜けとも言えます。

冬至は一年の中で夜の時間が最も長い日です。かぼちゃを食したり、ゆず湯に入ったりするとよいとされています。どちらも体を温めるのでしょうか。

さて、先週の土曜日（12月20日）に育成委員会主催の若松中学校区パトロールがありました。育成委員会は、若松中学校を中心に、若松小・若松台小・小倉小の保護者や地域の方、学校職員で構成されています。

若松中学校の武道場に集まった委員は9つのコースに分けられ、お店や公園などを回ります。お店に迷惑をかけていないかを尋ねたり、公園で危険な遊びをしている子がいれば声をかけたり、ごみは落ちていればゴミを拾ったりします。

当日は午前中から雨が降り、午後には止んでいたのですが、公園に人の姿はありませんでした。ただ、ごみは落ちており、それを拾って公園を後にしました。お菓子のごみは子どもでしょうか。缶コーヒーの空き缶が数本。これは大人でしょうか。地域の公園をきれいに使って欲しいなど感じました。

また、コンビニエンスストアでは、低学年の児童が複数で来店し、騒がしいことがあると店長から聞きました。「小さな子ども達なので仕方がないのですが。」と店長さんは言ってくれましたが…。

各コースを回った委員の皆さんはもう一度若松中に集まり、情報交換を行いました。若松中学校区では、大きな心配事はないようでした。

日本では安全・安心に日々が過ごせることは、当たり前のように感じているかもしれません

ん。しかし、安全・安心は、そこに住む人々が、ルールやマナーを守り、思いやりの心をもって行動しなければ実現しません。その実現のために育成委員会も寄与していることを知ってくださると嬉しいです。